



原小だより

～つよく 正しく 朗らかに～

12月号
令和7年(2025年)
11月21日
宇部市立原小学校



校長 早川 真司

校長として、この学校便りの1ページ目の執筆はなかなか悩ましいものがあります。保護者の方、地域の方に思いを直接伝える場として、この1ページを大切に思うからです。よりよい原小教育を推進したい。そのために私の思いを伝えることで皆様と意見を交わし、考えを理解していただき、時にはフィードバックを得ながら明日からの教育に活かしていきたい、そのように考えています。ですから、保護者の方、地域の方から、「学校だより読みましたよ、校長先生は……。」と感想を話しかけていただくと大変うれしくなります。「情報は発信するところに集まる」。この信念で、今後もがんばります。

話を「きく」

朝夕、めっきりと冷え込むようになりました。山々の木々も様々に色付き、日本ならではの美しさを感じることができます。こんな木枯らしが吹き抜ける寒い夜には、「鍋料理」が恋しくなります。皆さんはどの鍋料理が一番好きですか。鍋料理は余分な脂肪分を流してくれるそうですが、締め雑炊までしっかりと食べきる私には、あまりその効果は期待できないようです。

この鍋料理の長所は、「家族で一つの鍋を囲む」という団欒の素晴らしさを一層引き立たせてくれるところにもあると思います。一つの鍋から、食材を分け合い食べていると、会話も弾み、身も心も文字どおり温まるものです。

この団欒のときなど、どのように子どもの話を聞いていますか。我が家もそうですが、待っているだけでは、子どもからの発信が期待できないときがあります。話しやすい雰囲気をつくらないと、肝心なことを話してくれないときがあるのです。

こういうときは、「聞いている」ということを相手に伝えるのが聞き手の役目になります。相手に「話をしっかり聞いているよ」と伝えるポイントは三つあるそうです。

- ① 目を見て聞きましょう（子どもの話は、目で受け止めましょう）
- ② 明るい表情で聞きましょう（笑顔は歓迎の合図です）
- ③ 相づちをうちましょう（反応があると、うれしいものです）



子どもの表情・動作などを見取りながら、今の気持ちを聞いて理解すると、「聞き手」から「理解者」にランクアップすることができます。子どもが無口な時には、特に強い関心をもって、表情・動作などにいつもと違う変化がないか注意してみましょう。メッセージが隠されているかもしれません。

そして、こちらの思いも伝えましょう。子どもが親から言われて嬉しかった一言は「あなたのことが大事なんだよ。」というアンケート結果もあるそうです。大切にされているのは分かっている、子どもは、言葉で言われると嬉しいものです。あたたかいコミュニケーションが、家族の時間を、一層素敵な時間に変えてくれることでしょう。